

# 野村外国債券（含む新興国） インデックス Aコース （野村投資一任口座向け）

追加型投信／海外／債券／インデックス型

## 交付運用報告書

第32期（決算日2020年8月17日）

第33期（決算日2020年9月17日）

第34期（決算日2020年10月19日）

第35期（決算日2020年11月17日）

第36期（決算日2020年12月17日）

第37期（決算日2021年1月18日）

作成対象期間（2020年7月18日～2021年1月18日）

第37期末（2021年1月18日）	
基準価額	10,521円
純資産総額	11,109百万円
第32期～第37期	
騰落率	0.2%
分配金（税込み）合計	81円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供することができる旨を定めております。運用報告書（全体版）は、野村アセットマネジメントのホームページで閲覧・ダウンロードしていただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

右記ホームページを開く

⇒「ファンド検索」にファンド名を入力しファンドを選択

⇒ファンド詳細ページから「運用報告書（全体版）」を選択

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、外国債券為替ヘッジ型マザーファンドおよび新興国債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）とJPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ヘッジベース）の月次リターンを、各指数構成国のGDP合計の割合で合成して算出した指数を対象指数とし、対象指数の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。

ここに、当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

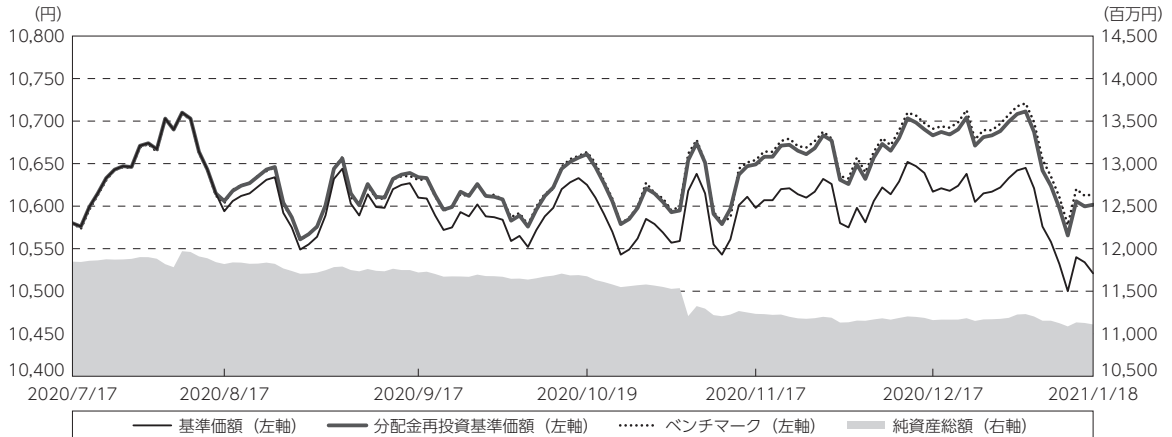


ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

(2020年7月18日～2021年1月18日)



第32期首：10,580円

第37期末：10,521円（既払分配金（税込み）：81円）

騰落率：0.2%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2020年7月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）とJP モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ヘッジベース）の月次リターンを、各指数構成国のGDP合計の割合で合成して算出した指数です。詳細は4ページをご参照ください。ベンチマークは、作成期首（2020年7月17日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

外国債券利回りが米国を中心にやや上昇（価格は下落）したことはマイナスに影響しましたが、新興国債券（米ドル建て）利回りが低下（価格は上昇）したことがプラスに寄与したため、基準価額は上昇しました。

## 1万口当たりの費用明細

(2020年7月18日～2021年1月18日)

項 目	第32期～第37期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 18	% 0.167	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(13)	(0.123)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販売会社)	( 3)	(0.028)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受託会社)	( 2)	(0.017)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売買委託手数料	0	0.000	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	( 0)	(0.000)	
(c) その他費用	1	0.006	(c) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	( 1)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	( 0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	19	0.173	
作成期間の平均基準価額は、10,610円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

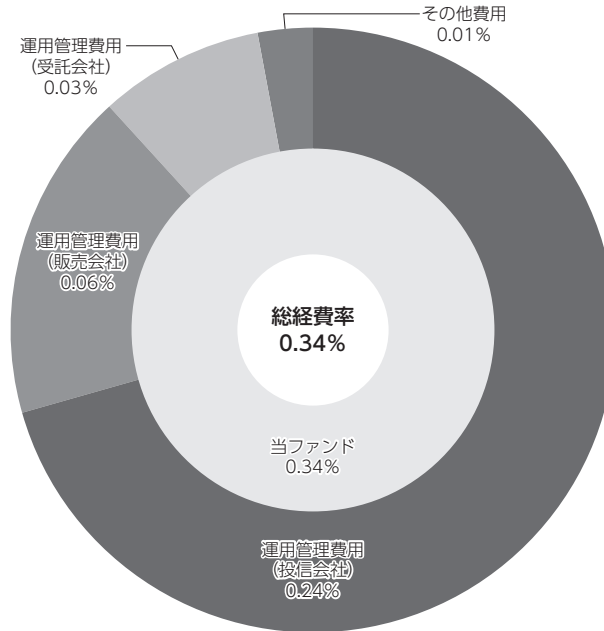
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

**（参考情報）****○総経費率**

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.34%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

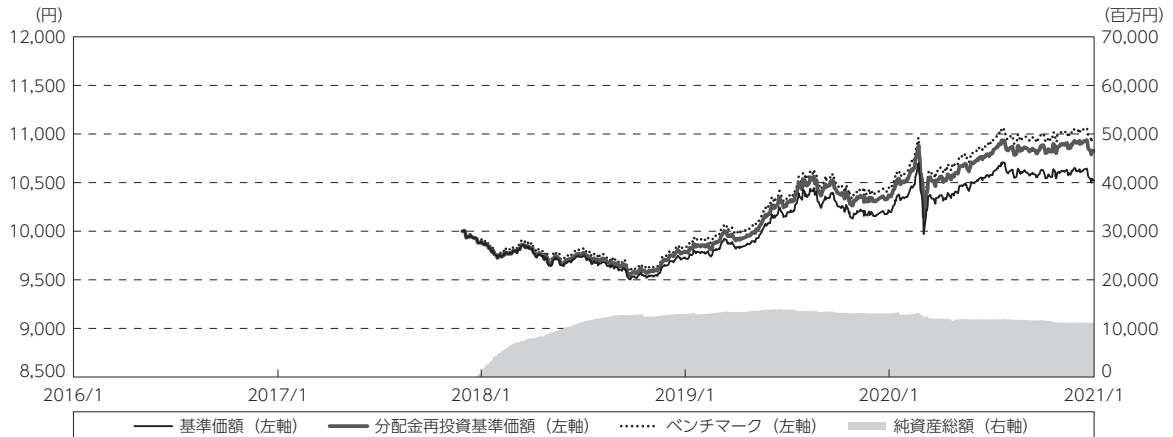
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2016年1月18日～2021年1月18日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）とJP モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ヘッジベース）の月次リターンを、各指数構成国のGDP合計の割合で合成して算出した指数です。詳細は以下をご参照ください。ベンチマークは、設定時を10,000として計算しております。
- (注) 当ファンドの設定日は2017年12月15日です。

	2017年12月15日 設定日	2018年1月17日 決算日	2019年1月17日 決算日	2020年1月17日 決算日	2021年1月18日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,894	9,725	10,204	10,521
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	66	90	135
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 1.1	△ 1.0	5.9	4.4
ベンチマーク騰落率 (%)	—	△ 0.8	△ 0.7	6.1	4.9
純資産総額 (百万円)	5	813	13,012	13,086	11,109

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2018年1月17日の騰落率は設定当初との比較です。

マザーファンド名	対象指数
外国債券為替ヘッジ型マザーファンド	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）
新興国債券マザーファンド	JP モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ヘッジベース）

\*各指数構成国のGDP合計の割合は、原則として年1回見直しを行ないます。

\*新興国債券マザーファンドは、新興国の公社債を主要投資対象とし、JP モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円換算ベース）の中長期的な動きを概ね捉える投資成果を目指して運用を行ないますが、当ファンドにおいて為替予約取引等を行なうことにより、実質的にJP モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ヘッジベース）の中長期的な動きを概ね捉える投資効果を目指して運用を行ないます。

**投資環境**

(2020年7月18日～2021年1月18日)

**【先進国債券市場】**

当運用期間では、EU（欧州連合）復興基金の設立合意を受けて周縁国の財政悪化懸念が緩和されたことなどを背景にユーロ圏債券利回りは周縁国を中心に低下（価格は上昇）しましたが、米国の追加経済対策に伴う国債増発懸念などから米国債券利回りは上昇（価格は下落）しました。外国債券全体の利回りは米国を中心にやや上昇しました。

**【新興国債券市場】**

新型コロナウイルスのワクチン開発に関する前向きな報道により投資家のリスク回避姿勢が後退したことや、商品価格上昇に伴う新興国の経常収支改善期待などを背景に、新興国債券利回り（米ドル建て）は低下（価格は上昇）しました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2020年7月18日～2021年1月18日)

**【野村外国債券（含む新興国）インデックス Aコース（野村投資一任口座向け）】**

対象指数の動きに連動する投資成果を目指すため、各マザーファンド受益証券に投資しました。各マザーファンドへの投資配分比率は、対象指数における先進国（除く日本）および新興国の割合をもとに決定しました。当運用期間を通じて、各マザーファンドの組入比率の合計は、高位を維持しました。実質組入外貨建資産については、各マザーファンドで為替ヘッジを行っている部分を除き、為替ヘッジを行いました。

**【外国債券為替ヘッジ型マザーファンド】**

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）の動きに連動する投資成果を目指すため、地域構成、満期構成、デュレーション（金利感応度）、流動性などを考慮して選択した指数構成国の国債に分散投資しました。毎月末における指数構成銘柄の変更に対応し、ファンドの特性値（地域構成や平均デュレーションなど）を指数に合わせるようにポートフォリオのリバランス（投資比率の再調整）を行いました。債券組入比率は当運用期間を通じて高位に維持しました。なお、外貨建て資産については概ねベンチマークと同様に為替ヘッジを行いました。

**【新興国債券マザーファンド】**

JP モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円換算ベース）の中長期的な動きを概ね捉えるため、地域構成、満期構成、デュレーション（金利感応度）、流動性などを考慮して選択した指数構成国の国債に分散投資しました。毎月末における指数構成銘柄の変更に対応し、ポートフォリオの特性値（地域構成や平均デュレーションなど）を指数に合わせるようにリバランス（投資比率の再調整）を行いました。債券組入比率は当運用期間を通じて高位に維持しました。なお、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行っておりません。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2020年7月18日～2021年1月18日）

当運用期間の基準価額の騰落率は+0.2%となり、ベンチマークの+0.3%を0.1ポイント下回りました。主な差異要因は以下の通りです。

※基準価額の騰落率は、分配金（税込み）を再投資して算出しております。

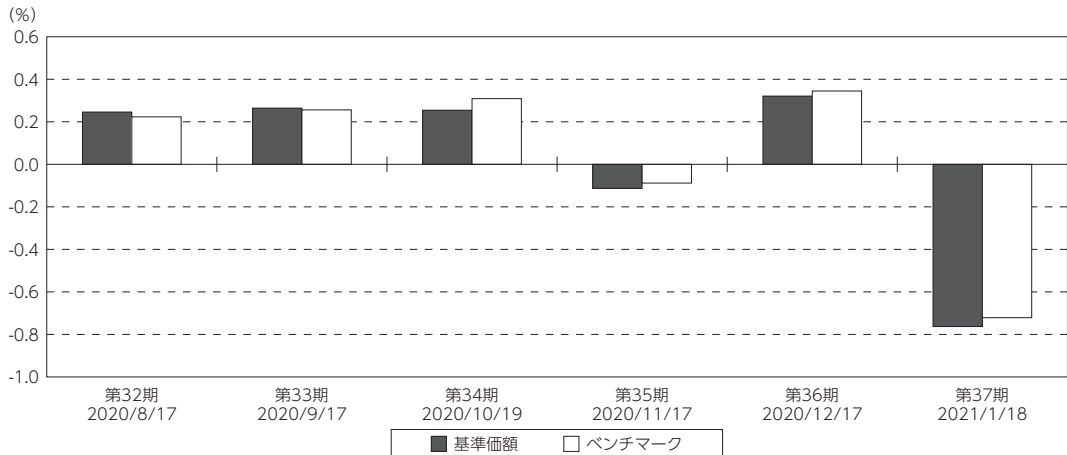
## （マイナス要因）

コスト負担（当ファンドの信託報酬や、債券に係る保管費用などのコスト）が生じること

## （その他の要因）

ベンチマークとファンドで評価に用いる債券時価が異なること

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）とJP モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ヘッジベース）の月次リターンを、各指数構成国のGDP合計の割合で合成して算出した指数です。

## 分配金

(2020年7月18日～2021年1月18日)

収益分配金は、利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案し、決定しました。  
留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項 目	第32期	第33期	第34期	第35期	第36期	第37期
	2020年7月18日～ 2020年8月17日	2020年8月18日～ 2020年9月17日	2020年9月18日～ 2020年10月19日	2020年10月20日～ 2020年11月17日	2020年11月18日～ 2020年12月17日	2020年12月18日～ 2021年1月18日
当期分配金	12	12	12	15	15	15
(対基準価額比率)	0.113%	0.113%	0.113%	0.141%	0.141%	0.142%
当期の収益	12	12	12	15	15	15
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	955	972	987	990	994	996

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針

### 【野村外国債券（含む新興国）インデックス Aコース（野村投資一任口座向け）】

引き続き、各マザーファンド受益証券への投資配分比率は、対象指数における先進国（除く日本）および新興国の割合をもとに決定し、各マザーファンドに投資することで、対象指数に連動する投資成果を目指して運用を行ってまいります。

### 【外国債券為替ヘッジ型マザーファンド】

引き続き、外国債券の組入比率を高位に保つとともに、ポートフォリオの特性値を指数に近似させることで、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行ってまいります。

### 【新興国債券マザーファンド】

引き続き、新興国債券（米ドル建て）の組入比率を高位に保つとともに、ポートフォリオの特性値を指数に近似させることで、JP モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円換算ベース）の中長期的な動きを概ね捉える運用を行ってまいります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

\* FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

\* 本書に含まれるJPモルガンのインデックス商品（インデックスのレベルも含みますが、これに限られません。）（以下、「本インデックス」といいます。）に関する情報（以下、「当情報」といいます。）は、情報の提供のみを目的として作成したものであり、金融商品の募集・勧誘若しくはその一部を構成し、又は本インデックスが参照する取引又は商品の価値若しくは価格を公式に確認するものではありません。当情報は、いかなる投資戦略の採用を推奨するものでもなく、法令、税務又は会計上の助言を行うものではありません。当情報に含まれる市場価格、データその他の情報は、信頼できると思われるものですが、その完全性及び正確性を保証するものではありません。当情報の内容については、今後予告なく変更されることがあります。当情報に含まれる実績は過去のものであって将来の運用成果を示すものではなく、将来の運用成績は変化します。JPモルガン、その関係会社又はそれらの従業員は、本インデックスの発行体のデータに係る金融商品について自己のポジション（ロング若しくはショート）を有し、取引を行い、又はそのマーケット・メイカーとして行為している可能性があるほか、かかる発行体の引受人、販売代理人、アドバイザー又は貸主となっている可能性があります。ジェー・ピー・モルガン・セキュリティーズ・エルエルシー（以下、「JPMSL」又は「インデックス・スポンサー」といいます。）は、本インデックスにおいて参照する証券、金融関連商品又は取引（以下「該当商品」といいます。）を、賛助し、支持し、又はその他の方法で勧誘するものではありません。インデックス・スポンサーは、証券や金融関連商品一般に投資すること若しくは個別の該当商品に投資することの有用性について、又は金融市場における投資機会を追跡記録し、若しくは目的を達成するための本インデックスの有用性について、明示黙示を問わず、何らの表明又は保証をするものではありません。インデックス・スポンサーは、該当商品の管理、マーケティング又は取引に関連して、何らの責任又は義務を負いません。本インデックスは、信頼できると思われる情報に基づいて作成されたものですが、インデックス・スポンサーは、その完全性及び正確性並びに本インデックスに関連して提供されるその他の情報に責任を負うものではありません。本インデックスは、インデックス・スポンサーに帰属し、インデックス・スポンサーが一切の財産権を保持します。JPMSLは、全米証券業者協会、ニューヨーク証券取引所及び米国証券投資家保護公社の会員です。「JPモルガン」は、ジェー・ピー・モルガン・チェース・バンク・エヌ・イー、JPMSL、ジェー・ピー・モルガン・セキュリティーズ・リミテッド（英国金融監督庁認可、ロンドン証券取引所会員）及びその投資銀行業務関連会社の投資銀行業務についてのマーケティング上の名称です。当情報に関して追加が必要な情報がありましたらお問い合わせください。当情報に関するご連絡は、[index.research@jpmorgan.com](mailto:index.research@jpmorgan.com)宛にお願いします。当情報に関する追加の情報については、[www.morganmarkets.com](http://www.morganmarkets.com)もご覧ください。当情報の著作権は、ジェー・ピー・モルガン・チェース・アンド・カンパニーに帰属します。

## お知らせ

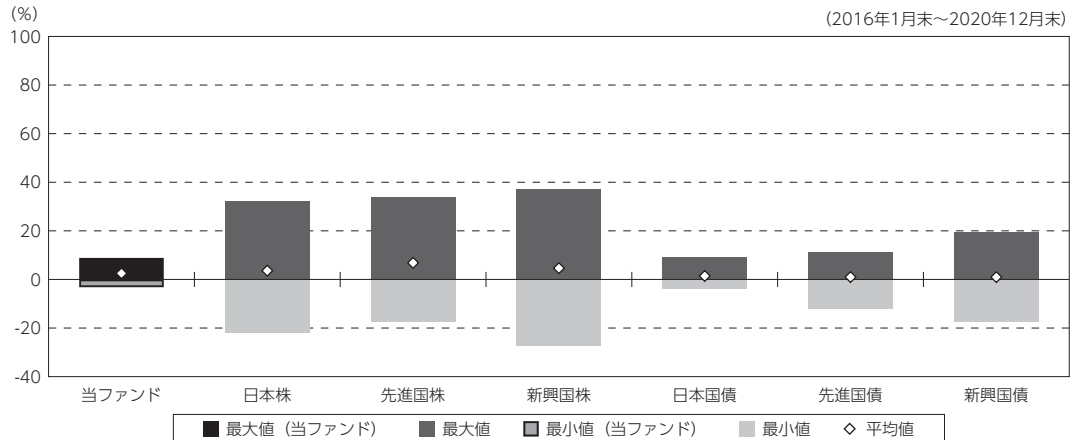
該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券／インデックス型	
信託期間	2017年12月15日以降、無期限とします。	
運用方針	<p>外国債券為替ヘッジ型マザーファンドおよび新興国債券マザーファンド（以下「各マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として外国（新興国を含みます。）の公社債に実質的に投資し、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）とJP モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ヘッジベース）の月次リターンを、各指数構成国のGDP合計の割合*で合成して算出した指数を対象指数とし、対象指数の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。</p> <p>*各指数構成国のGDP合計の割合は、原則として年1回見直しを行います。</p> <p>実質組入外貨建て資産については、各マザーファンドで為替ヘッジを行っている部分を除き、原則として為替ヘッジを行います。</p>	
主要投資対象	野村外国債券（含む新興国）インデックス Aコース（野村投資一任口座向け）	各マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、公社債に直接投資する場合があります。
	外国債券為替ヘッジ型マザーファンド	外国の公社債を主要投資対象とします。
	新興国債券マザーファンド	新興国の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	各マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）とJP モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ヘッジベース）の月次リターンを、各指数構成国のGDP合計の割合で合成して算出した指数を対象指数とし、対象指数の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。	
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

## （参考情報）

### ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	8.9	32.2	34.1	37.2	9.3	11.4	19.3
最小値	△ 3.2	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	2.5	3.6	6.8	4.6	1.4	1.0	1.0

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2016年1月から2020年12月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドの設定日以前の年間騰落率につきましては、当ファンドの対象指数（合成指数）を用いて算出しております。

(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

### 《代表的な資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI-KOKUSAI 指数（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

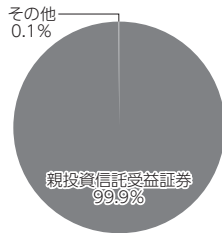
## 組入資産の内容

(2021年1月18日現在)

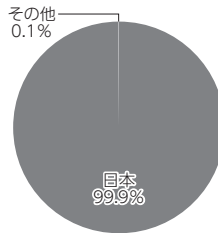
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第37期末
	%
外国債券為替ヘッジ型マザーファンド	83.8
新興国債券マザーファンド	16.1
組入銘柄数	2銘柄

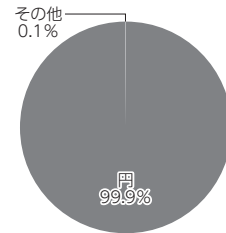
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

項目	第32期末	第33期末	第34期末	第35期末	第36期末	第37期末
	2020年8月17日	2020年9月17日	2020年10月19日	2020年11月17日	2020年12月17日	2021年1月18日
純資産総額	11,819,158,633円	11,719,995,419円	11,675,285,701円	11,233,430,210円	11,160,009,623円	11,109,292,599円
受益権総口数	11,156,858,811口	11,046,112,750口	10,988,482,578口	10,599,705,277口	10,511,590,504口	10,559,207,852口
1万口当たり基準価額	10,594円	10,610円	10,625円	10,598円	10,617円	10,521円

(注) 当作成期間中（第32期～第37期）における追加設定元本額は821,277,431円、同解約元本額は1,459,810,604円です。

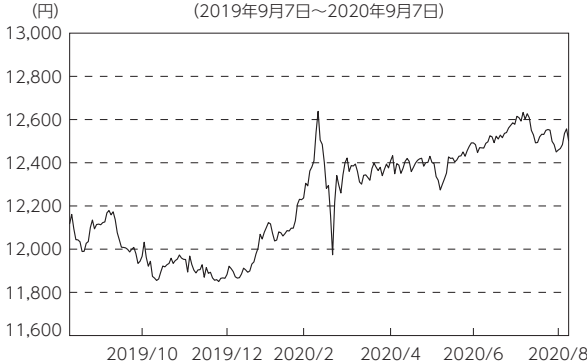
## 組入上位ファンドの概要

## 外国債券為替ヘッジ型マザーファンド

運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

## 【基準価額の推移】

(2019年9月7日～2020年9月7日)



## 【1万口当たりの費用明細】

(2019年9月7日～2020年9月7日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0 (0)	0.000 (0.000)
(b) その他費用 (保管費用)	2 (2)	0.014 (0.014)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	2	0.014

期中の平均基準価額は、12,254円です。

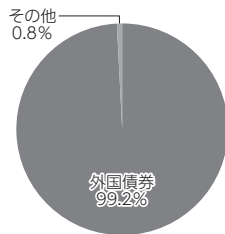
(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 【組入上位10銘柄】

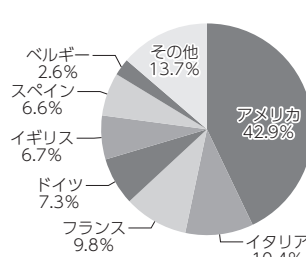
(2020年9月7日現在)

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 UK TREASURY 4.25% 2046/12/7	国債	英ポンド	イギリス	0.8%
2 US TREASURY BOND 3.75% 2043/11/15	国債	米ドル	アメリカ	0.8%
3 US TREASURY N/B 2.625% 2025/3/31	国債	米ドル	アメリカ	0.8%
4 US TREASURY N/B 2.75% 2028/2/15	国債	米ドル	アメリカ	0.7%
5 FRANCE GOVERNMENT O.A.T 0% 2026/2/25	国債	ユーロ	フランス	0.7%
6 US TREASURY N/B 2.875% 2046/11/15	国債	米ドル	アメリカ	0.7%
7 BUONI POLIENNALI DEL TES 4.75% 2044/9/1	国債	ユーロ	イタリア	0.7%
8 US TREASURY N/B 1.625% 2026/5/15	国債	米ドル	アメリカ	0.7%
9 US TREASURY N/B 2.875% 2025/4/30	国債	米ドル	アメリカ	0.7%
10 US TREASURY N/B 2.75% 2025/6/30	国債	米ドル	アメリカ	0.7%
組入銘柄数		461銘柄		

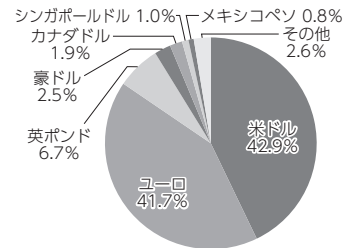
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



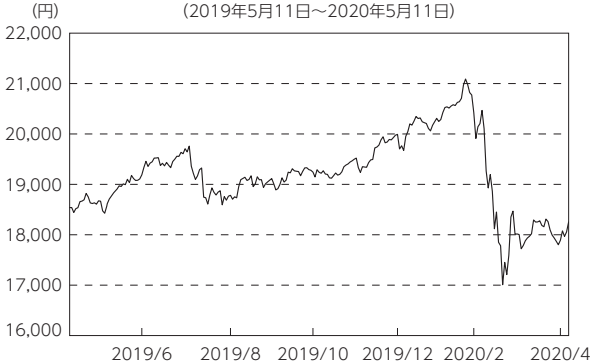
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。  
 (注) 国(地域)および国別配分は、原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。  
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書(全体版)に記載しております。  
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 新興国債券マザーファンド

運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

## 【基準価額の推移】

(2019年5月11日～2020年5月11日)



## 【1万口当たりの費用明細】

(2019年5月11日～2020年5月11日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) その他費用 ( 保管費用 ) ( その他 )	3 (3) (0)	0.018 (0.018) (0.000)
合計	3	0.018
期中の平均基準価額は、19,227円です。		

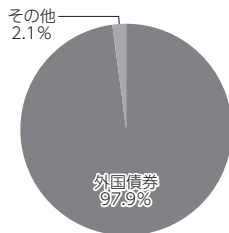
(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。  
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 【組入上位10銘柄】

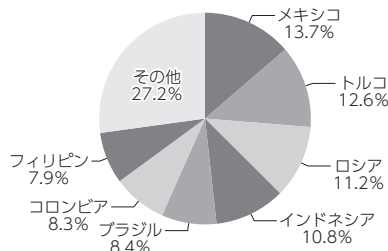
(2020年5月11日現在)

銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率	
1 RUSSIAN FEDERATION 5.25% 2047/6/23	国債	米ドル	ロシア	2.8%	
2 UNITED MEXICAN STATES 4.5% 2029/4/22	国債	米ドル	メキシコ	1.5%	
3 RUSSIAN FEDERATION 4.375% 2029/3/21	国債	米ドル	ロシア	1.5%	
4 REPUBLIC OF TURKEY 7.625% 2029/4/26	国債	米ドル	トルコ	1.5%	
5 REPUBLIC OF COLOMBIA 5% 2045/6/15	国債	米ドル	コロンビア	1.5%	
6 FED REPUBLIC OF BRAZIL 4.25% 2025/1/7	国債	米ドル	ブラジル	1.3%	
7 UNITED MEXICAN STATES 6.05% 2040/1/11	国債	米ドル	メキシコ	1.3%	
8 TURKEY GLOBAL 7.375% 2025/2/5	国債	米ドル	トルコ	1.2%	
9 RUSSIAN FEDERATION 5.1% 2035/3/28	国債	米ドル	ロシア	1.2%	
10 REPUBLIC OF PHILIPPINES 3.7% 2042/2/2	国債	米ドル	フィリピン	1.2%	
組入銘柄数	151銘柄				

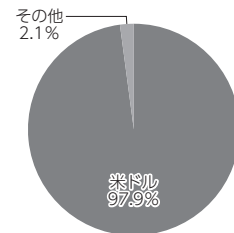
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。  
 (注) 国(地域)および国別配分は、原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。  
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。  
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### ○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、㈱東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、㈱東京証券取引所は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

### ○MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）

### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

### ○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債の知的財産権は、野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、NOMURA-BPI国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI国債を用いて行われる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。

### ○FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

「JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）」（ここでは「指数」とよびます）についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価値や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスを法的に推奨するものでもありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JPMorgan Chase & Co. 及びその子会社（以下、JPM）がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPMやその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持って、売買を行ったり、またはマーケットメイクを行ったりすることがあり、また、発行体の引受、プレースメント、エージェンシー、アドバイザー、または貸主になっている可能性もあります。

米国のJ.P. Morgan Securities LLC（ここでは「JPMSLLC」と呼びます）（「指数スポンサー」）は、指数に関する証券、金融商品または取引（ここでは「プロダクト」と呼びます）についての援助、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に連動させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。

JPMSLLCはNASD, NYSE, SIPCの会員です。JPMorganはJP Morgan Chase Bank, NA, JPSI, J.P. Morgan Securities PLC., またはその関係会社が投資銀行業務を行う際に使用する名称です。

（出所：株式会社野村総合研究所、FTSE Fixed Income LLC 他）

## ＜お申し込み時の留意点＞

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

（2021年1月18日現在）

年 月	日
2021年1月	18
2月	12、15
3月	－
4月	1、2、5
5月	28、31
6月	－
7月	2、5
8月	27、30
9月	3、6
10月	8、11
11月	10、11、24、25
12月	23、24、27、28

※2021年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご注意ください。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ（<http://www.nomura-am.co.jp/>）にも掲載いたしております。